

平成25年度越谷市自治基本条例推進会議 第1回会議 ワークショップ結果【A班】

「自主財源の確保」

- 平成25年度当初予算歳入 518億5,903万円(62.2%)
- 人口減少傾向、高齢化傾向。今後、年金受給者が増えていく。このままでは、財政破綻する。他市の先進事例を調べ、越谷市でもできそうなものへ取り組む。また、発想の転換により創意工夫を
- 市税については、頭打ち。収納率の向上に努める。
- 市税を増やすにはどうするか？
 - ・集客力を高めるため観光を重視する。
 - ・市内の観光スポットを効率よく巡回できるバス運行企画
 - ・川を生かした新たな観光の創出、水力発電の導入
 - ・市内で消費し、税金が市に入る仕組みづくり。パンフレットの作成や広報紙へ掲載しPR
(たばこ税などの仕組みを市民に知ってもらう)
- 扶助費が増える一方。真に必要な人へ適正な支給ができる仕組みを構築すべき

「健全な財政運営の推進」

- 予算を本当に必要なものに対して、効率的に配分できていないという問題があるのではないか。これまでやってきたからではなく、常に本当に必要であるかを検証したうえで予算化すべき

「財政状況の公表」

- ほとんどの取り組みは広報紙を通じて分かりやすく情報提供が行われている。
- ただし、一部、行政用語が多用されているなど、わかりにくい。
- 予算の大きな増減がある場合は、主に何が要因であるか説明の一文があるとよいのでは。